

H26.7.23 設楽ダム魚類検討会 議事概要

○日 時：平成26年7月23日（水） 14時00分～16時00分

○議事概要：

表 H26.7.23 設楽ダム魚類検討会の議事概要

議事項目	議事内容	報告事項	委員の主な意見	意見に対する回答
1.魚類検討会経緯	・魚類検討会の経緯について	・確認した。	・特になし。	・特になし。
2.野外実験	・繁殖用親魚の採捕結果について	・F 集団で繁殖用親魚を採捕した。	・親魚の採捕時期はどのように設定したか。水槽内で成熟させるのは難しいので、産卵直前の採捕が望ましいのではないか。	・採捕・移動のストレスを考慮し、繁殖期前とした。採捕時期については採捕回数を複数回とするなど検討したい。
	・飼育・繁殖状況について	・繁殖状況のH26途中経過を説明した。	・産卵直前の個体は、ストレスがかかり腹が萎んでいってしまうことがある。産卵直前の個体はすぐにホルモンを打った方が良い	・採捕時の個体の状況に応じて、ホルモン投与等を検討したい。
			・産卵数が多いが受精していないのはなぜか。受精率が悪いのではないか。	・雄の繁殖行動の活性を高くするような手法を検討したい。
			・ホルモン投与後、排卵まで時間がかかっている。ホルモンが効いていないのではないか。ネコギギは30～40時間で産卵する事例が幾つかある。	・ギギによる実験も含め、ホルモン投与のパターンを複数作成しホルモン効果が出るよう検討したい。
・放流実験結果について	・放流実験の経過を報告した。	・巨石投入による環境改善箇所でもネコギギも確認されている。今後は、土砂が堆積しないか、出水後に残るかのモニタリングが重要である。	・出水時・出水後の観測などを行い経過を観察したい。また、必要に応じて補修を行う。	
		・保全対策工の施工範囲を広くした方が良い。また、間隙を増やし暗さを確保するために、もう少し広い範囲で施工して欲しい。	・今後の保全対策工では留意する。また、間隙等については土砂崩落箇所等を参考にしていきたい。	
3.モニタリング調査結果	・生息状況モニタリング調査について	・春季の調査結果（速報）を報告した。	・ネコギギの大幅な移動についてはモニタリング調査を行い、個体群モデルの改善を行うべき。	・個体拡散については追加調査を実施し、個体群モデルの改善などに役立てたい。
4.今後の調査・検討方針	・今後の調査・検討方針について	・内容を確認した。	・トウカイナガレホトケドジョウ、カジカの対策も具体的な調査などを計画すること。	・今後、調査・検討計画を報告する。
			・ダム下流河川への負荷の検討についても実施すること。	・特になし。